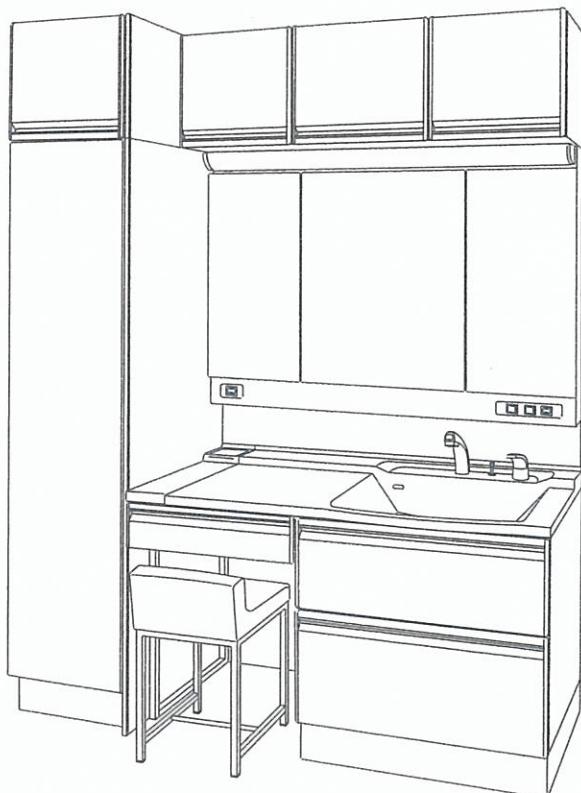


タカラ ホーローシステム洗面化粧台

取扱説明書 (お客様へ)

設置説明書 (設置される方へ)

Eleena
エリーナ



もくじ

取扱説明書

ページ

1. 各部の名称	1~2
2. 使用上のご注意	2~4
3. 仕様	5
4. 使用方法	5~6
5. 調整のしかた	7
6. お手入れのしかた	8
7. 『故障かな?』と思ったら	8~9
8. アフターサービス	9

設置説明書

1. 設置される方へのお願い	…10
2. 組立配管図	10~11
3. 設置上のご注意	11~12
4. 設置手順	13~29
5. 点検・仕上げ	30
6. お願い事項	30

お客様へ このたびは、タカラ ホーローシステム洗面化粧台をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

またお読みになった後は、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

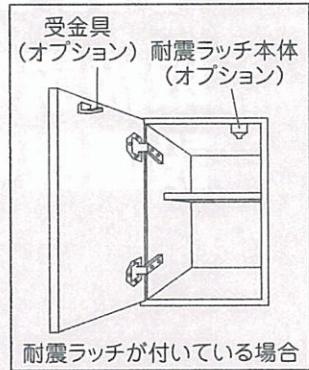
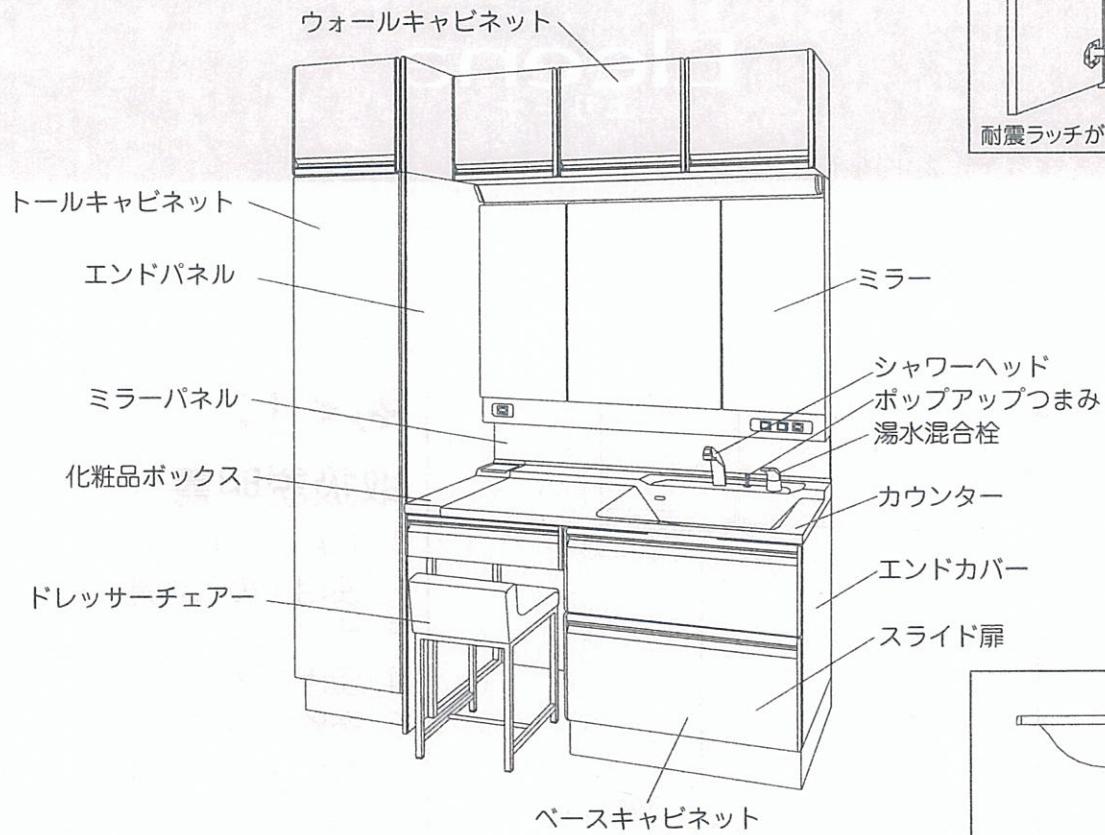
設置される方へ 設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないよう納めておいてください。

タカラスタンダード株式会社

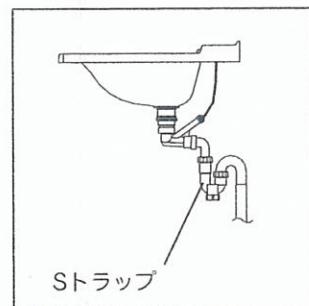
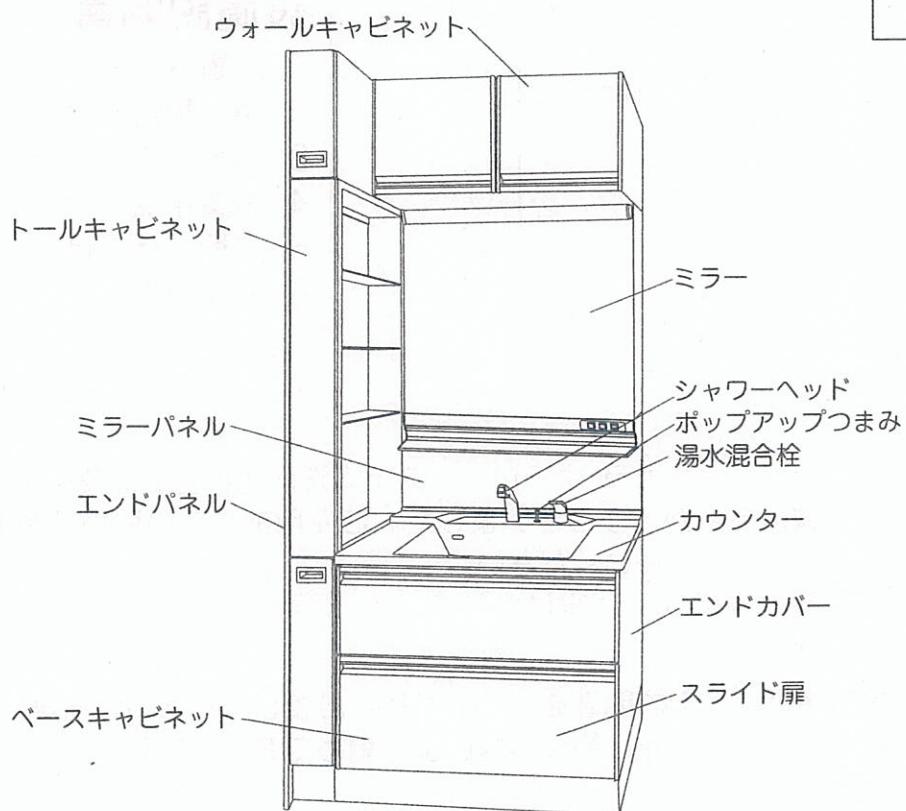
取扱説明書 (お客様へ)

1.各部の名称

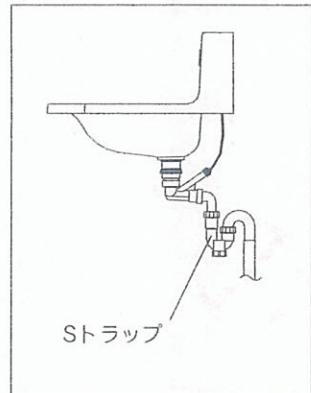
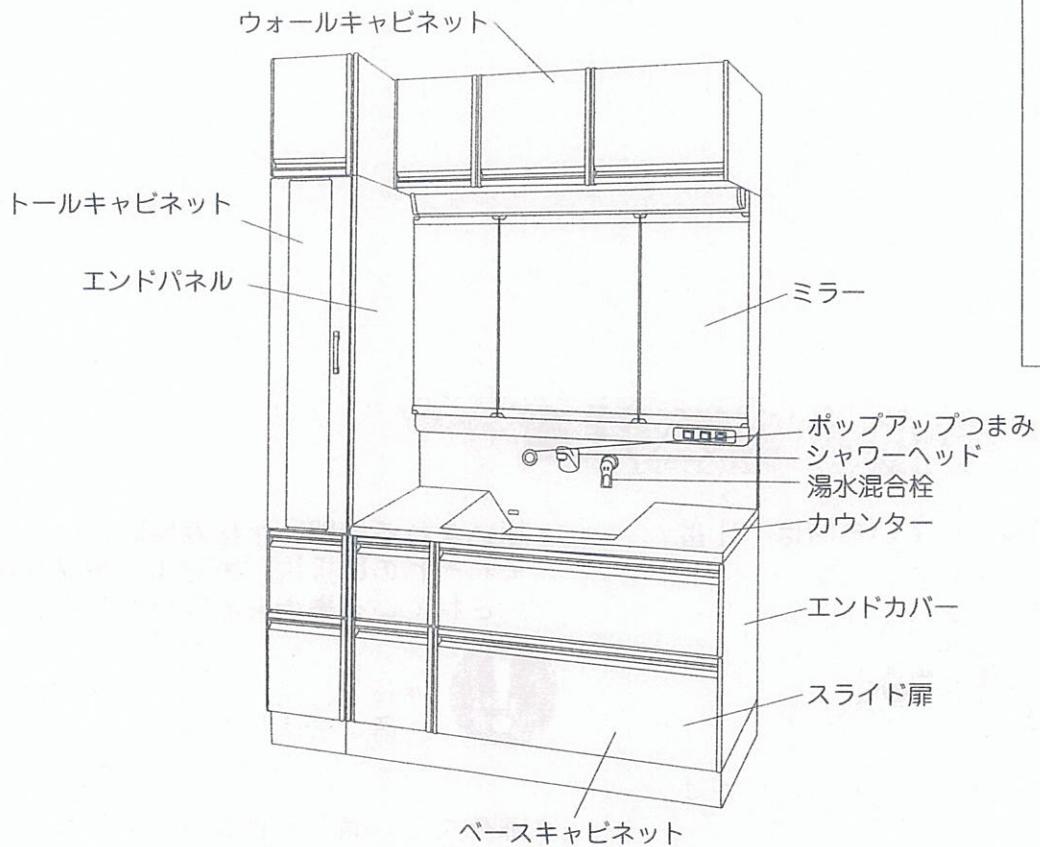
<フラットカウンター・ドレッサーイフ>



<フラットカウンター・センター・ボウルタイプ>



<ハイバックカウンター・センター・ボウルタイプ>



2. 使用上のご注意

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- 組込まれる機器・器具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号は、してはいけない
「禁止」の内容です。



このような図記号は、「分解禁止」の内
容です。



このような図記号は、必ず実行していた
だく「強制」の内容です。



このような図記号は、「水掛け禁止」の
内容です。

⚠ 警告

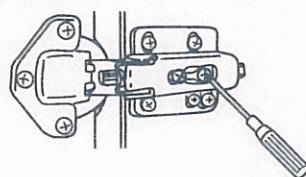
- チェアの上に乗らないでください。



- すべて落ちたり、転倒してケガをするおそれがあります。



- 扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のねじを締め直してください。

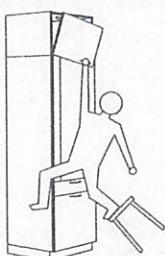


- 扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。

- 扉や取っ手にぶら下がらないでください。



- 扉がはずれて、ケガをするおそれがあります。



- 棚受けダボは確実に奥まで差し込んでください。



- 棚板が落下して、ケガをするおそれがあります。

- 修理業者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。



- 火災や感電、ケガをするおそれがあります。

〈耐震ラッチが取り付いている場合〉



- 地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっていないか確認してください。
- 収納物が落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 組込まれる機器、水栓器具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項をお守りください。



- 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

- 扉を大きく開けすぎないでください。



- 扉がはずれて、ケガをするおそれがあります。

- 固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。

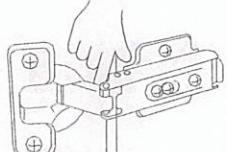


- 水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでおつかいください。

- 扉開閉時に丁番にさわらないでください。



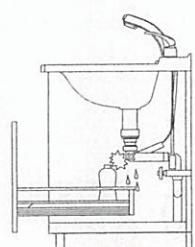
- 丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。



- スライド扉に収納する物は、高さに注意してください。



- 収納物が排水器具と接触し、水漏れや破損の原因になります。



快適にご使用いただくためにお守りください。

- 強い酸性やアルカリ性の薬品やシンナーなどの溶剤をボウルに流さないでください。

- ボウル表面が変色したり、排水パイプが損傷して水漏れ事故が発生するおそれがあります。

- カウンターやボウルの上に火の付いたタバコをおかないでください。



- こげあとがつくおそれがあります。

- 棚板や底板に過度に重い物や偏って物を収納しないでください。

- 棚板や底板が変形するおそれがあります。間口10cm当たり2kg以上は避けてください。例：45cmの棚板1枚につき9kg以下。

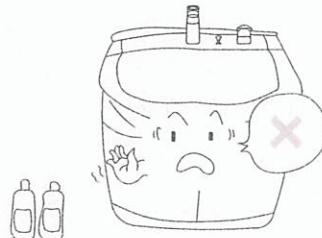
- 木製キャビネットに湯水をかけないでください。かかった時はすぐにふき取ってください。

- 変形や変質のおそれがあります。

- キャビネットにドライヤーの熱風を直接吹きつけないでください。

- 変形するおそれがあります。

- 化粧品（マニキュア除光液、毛染め液、ジェル系クレンジング剤など）、強い酸性やアルカリ性の薬品、シンナー等の溶剤をカウンター、ボウル、キャビネットや扉にこぼさないでください。こぼしたらすぐにふき取ってください。

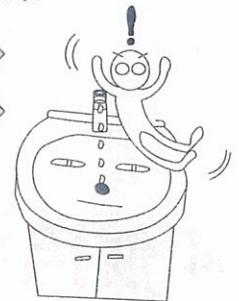


- 表面の光沢を損ねたり、溶かしたりするおそれがあります。

- カウンターやボウルの上に乗らないでください。



- すべて落ちたり、キャビネットが転倒して、ケガをするおそれがあります。



- カウンターやボウルに硬い物や鋭利な物を当たり落したりしないでください。



- 傷、力ヶなどの発生するおそれがあります。



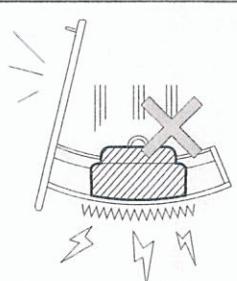
- シャワーホースを無理にひっぱったり曲げたりしないでください。

- ホースを破損する原因になります。

- スライド扉には過度に重い物を収納しないでください。

- スライド扉が、こわれる原因になります。
収納物の重量は下表を参考にしてください。

部 位	引出し
最大収納重量	15kg



3.仕様

●洗面下台

	フラットカウンター		ハイバックカウンター
	ドレッサーティプ	センターボウルタイプ	センターボウルタイプ
製品寸法(単位: mm) 間口 × 奥行 × 高さ ※()はカウンター 高さ75cmの場合	1200×615×841(791) 1350×615×841(791) 1500×615×841(791) 1650×615×841(791)	750×615×841(791) 900×615×841(791) 1050×615×841(791) 1200×615×841(791) 1350×615×841(791) 1500×615×841(791) 1650×615×841(791)	750×615×1030(980) 900×615×1030(980) 1050×615×1030(980) 1200×615×1030(980) 1350×615×1030(980) 1500×615×1030(980) 1650×615×1030(980)
キャビネット・扉	鋼板ホ一口ー他		
カウンター	アクリル人造大理石(ボウル一体型)		
ボウル容量	15リットル		
排水金具	ヘアキャッチャー付ポップアップ式排水栓		
排水トラップ	Sトラップ		

4.使用方法

水栓の使いかた

- 水栓の取扱説明書にしたがってご使用ください。

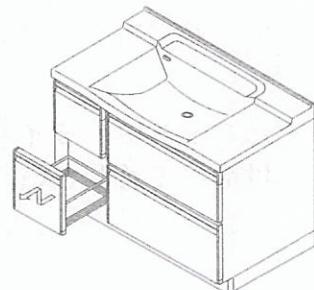
水栓の凍結予防のしかた

- 凍結のおそれのある場合は、付属の湯水混合栓取扱説明書にしたがって水抜き作業を行ってください。(寒冷地仕様の場合)

スライド扉・引出・網棚ラックのはずしかた

●スライド扉のはずしかた(洗面下台の場合)

スライド扉をいっぱいに引いた状態で、少し上に持ち上げて引いてください。

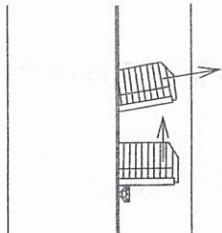


●引出のはずしかた(ガラス扉タイプ内引出およびサイド収納タ�클ートルキャビネットの場合)

引出をいっぱいに引き出した後、上へ持ち上げながら引き抜いてください。

●網棚ラックのはずしかた(姿見ミラータイプトールキャビネットの場合)

ミラー扉を全開し網棚ラックをいっぱいに引き出した後、上へ持ち上げながら引き抜いてください。



棚板の位置を変える場合

棚板ダボにはA・Bの2タイプがあります。(図①)

① Aタイプの場合

●棚板のはずしかた

前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじいてください。(図②)

●棚受ダボの取付けかた

希望の位置にダボをしっかり奥まで差し込んでください。(図③)

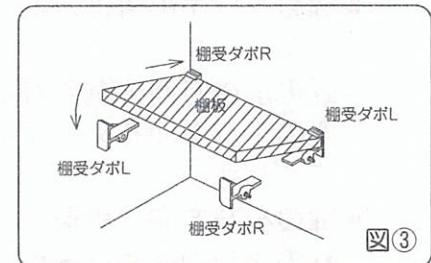
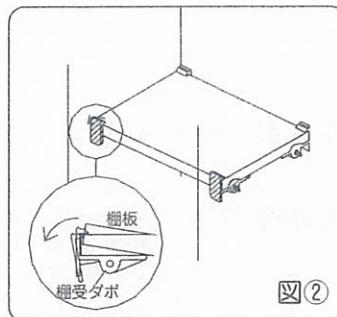
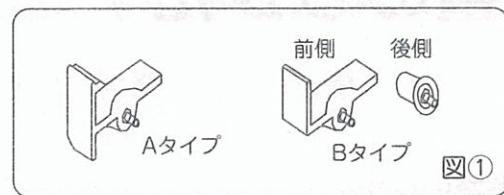
●棚板の設置のしかた

奥のダボに棚板を差しこみ、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。(図③)

② Bタイプの場合

希望の位置にきっちり奥までねじ込んでください。

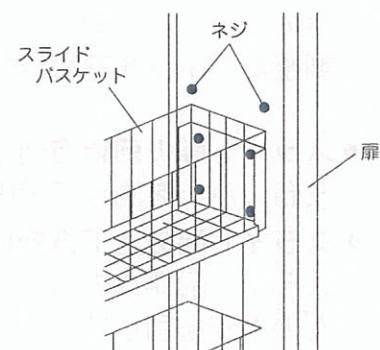
棚板を設置してください。



スライドバスケットの調整のしかた(15トールキャビネットの場合)

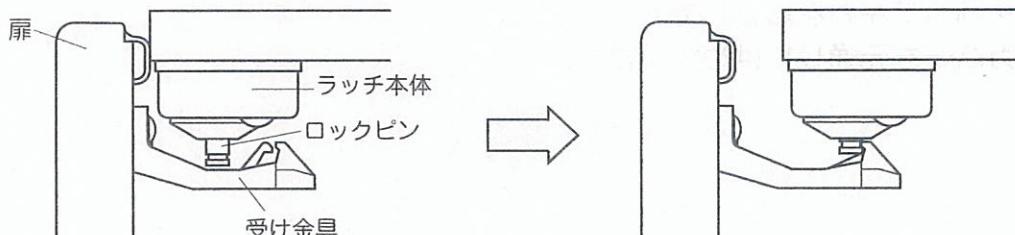
ネジ6本を緩めることにより扉が上下・左右方向に動くようになります。

調整後は、ネジをしっかりと締め直してください。



耐震ラッチが取付いている場合

●耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。(このとき、扉は2~3cm開きます)



●通常使用(扉の開閉)においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。

●扉の開閉は、力を入れずやさしくおこなってください。

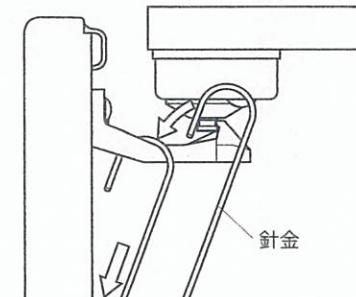
●地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。

ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

①扉の隙間より針金を曲げたものなどを差し込み、受け金具に引っかけてください。

②一度扉を閉じてください。

③針金を下方に引きながら扉を開けてください。



ご注意：強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。

耐震ラッチは地質、建物の構造、階数により性能を充分発揮できない場合があります。

5.調整のしかた

※調整には④ドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領にしたがって締め直しまたは調整を行ってください。

①丁番の調整のしかた

・扉ガタツキの修正方法

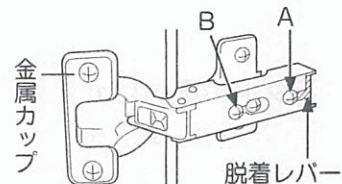
Aのネジをしっかり締め込んでください。

・扉の前後方向の調整方法

Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。

・扉の左右方向（段違い）の調整方法

Bのネジの締め込み代で調整してください。

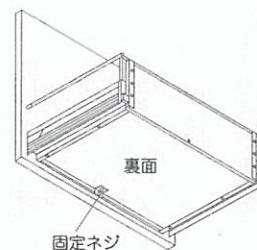


②スライド扉の調整のしかた

※底板裏面より扉を固定しています。

扉の上下・左右調整する場合はネジをゆるめてください。

調整後、ネジを締め直してください。



・スライド扉の前後方向(角度)の調整

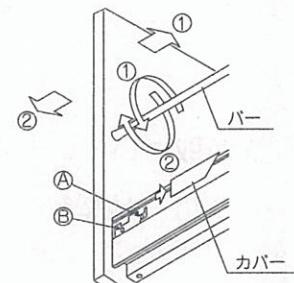
左右のバーを回して扉の角度調整を行ってください。

・スライド扉の上下方向の調整

スライド扉側枠のカバーをはずしてください。

Aのネジを回して上下を調整してください。

調整後、カバーを元通りにはめてください。



・スライド扉の左右方向の調整

スライド扉側枠のカバーをはずしてください。

Bのネジを回して左右を調整してください。

調整後、カバーを元通りにはめてください。

6.お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日頃のお手入れが大切です。

なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

使用してよいもの	使用すると損傷を与えるもの
<ul style="list-style-type: none"> ●やわらかい布 ●スポンジ ●中性洗剤 	<ul style="list-style-type: none"> ●タワシ・金属タワシ・クレンザー ●研磨剤入りナイロンタワシ・磨き粉 ●ベンジン・アセトン・シンナー・アルコール ●塩酸・トイレ用洗剤・漂白剤 ●有機溶剤入りの洗剤・殺菌消毒剤 

カウンター、キャビネット、ミラー、扉・引出のお手入れ

- 水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れをおとしてください。
その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

●カウンター補修方法

カウンター表面に傷がついた場合は、下記方法により補修できます。

1.すり傷の場合

艶出し用コンパウンドで研磨してください。

2.深い傷の場合

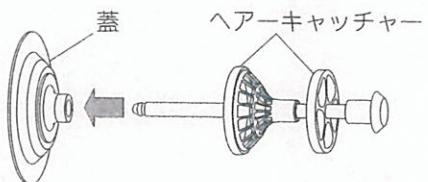
#600のサンドペーパーで傷を研磨してください。その後、#2000で表面を研磨し、最後に艶出し用コンパウンドで磨き上げてください。

水栓のお手入れ

- 水栓の取扱説明書にしたがってお手入れしてください。

ヘーキャッチャーのお手入れ

- ケレップの蓋部分を引っ張るとはずれます。蓋をはずしてヘーキャッチャーを引き抜き清掃してください。清掃後は、ヘーキャッチャーを元のように差込み、蓋を取り付けてください。



7.『故障かな?』と思ったら

アフターサービスをお申しつけになる前に、つぎの点をお調べください。

現象	確認事項	処置
水栓からの吐水量が少ない。(出ない)	止水栓が閉じられていませんか。	止水栓を開いてください。
	水栓に異常はないですか。	水栓の取扱説明書で確認して、その箇所の点検処理を依頼してください。
水栓から高温、低温の一方しか湯水が出ない。	止水栓が閉じられていませんか。	止水栓を開いてください。
	給水、給湯源(給湯器)は正常に作動していますか。	異常があれば、その箇所の点検修理を依頼してください。

現象	確認事項	処置
排水に時間がかかりすぎる。	Sトラップの中に何かつまっていますか。	SトラップのU管をはずして、つまた物を取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、U管をはずす際はバケツ等で水を受けてください。
		Sトラップのキャップをはずして、つまた物を取り除いてください。トラップ内には水が溜まっていますので、キャップをはずす際はバケツ等で水を受けてください。
	排水口のヘアキャッチャー部分にゴミや髪の毛がたまっていますか。	ヘアキャッチャーパートをはずし、たまたゴミや髪の毛を取り除いてください。
扉が傾いたり、扉がガタついたりする。	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていますか。	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理を依頼してください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

8.アフターサービス

タカラシステム洗面化粧台のアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。また、おわかりにならないときは、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

 0120-557-910 受付時間 9:00~18:00 (土日祝、夏期・年末年始休業日を除く)

アフターサービスをお申しつけの際は、つぎのことをお知らせください。

- (1) 製品名
- (2) 機種名
- (3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

●修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

設置説明書 (設置される方へ)

1. 設置される方へのお願い

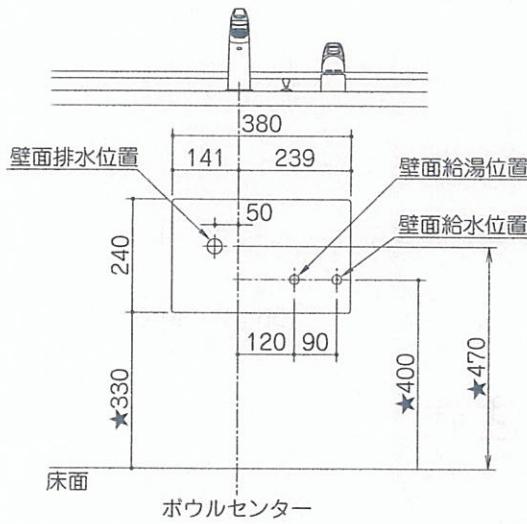
- この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前は必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いします。
- 組込まれる機器・器具などについては、それぞれの設置説明書にしたがって正しい設置を行ってください。
- 給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- 本商品の設置が終了しましたが、他の設置が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布等をかぶせて保護してください。
- 設置後は水栓の取扱説明書とこの説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失しないように納めておいてください。
- 梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適切な処理をお願いします。

2. 組立配管図

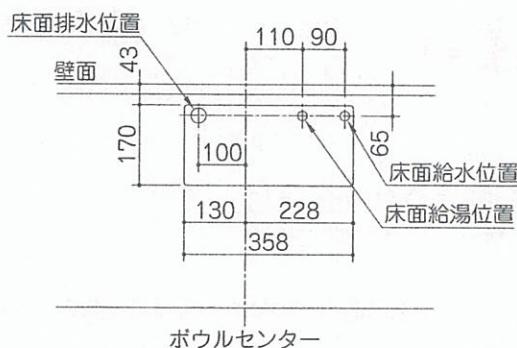
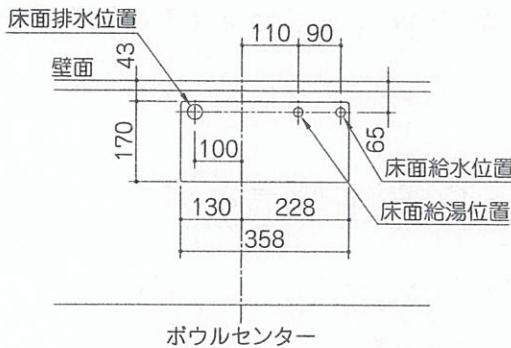
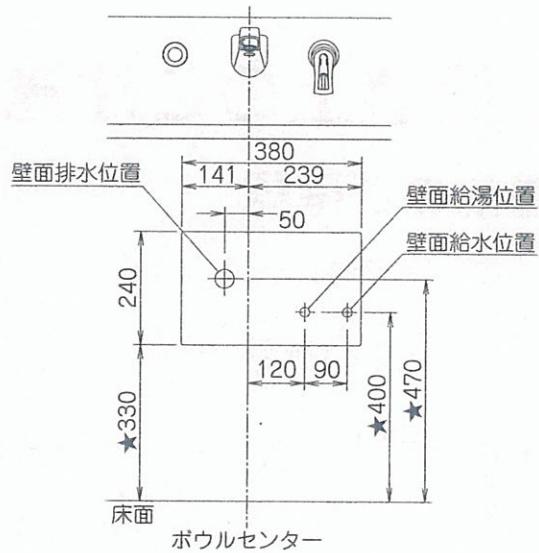
注) 図はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。
カウンター高さが75cmの場合、★部の寸法は-50mmになります。

●給排水位置

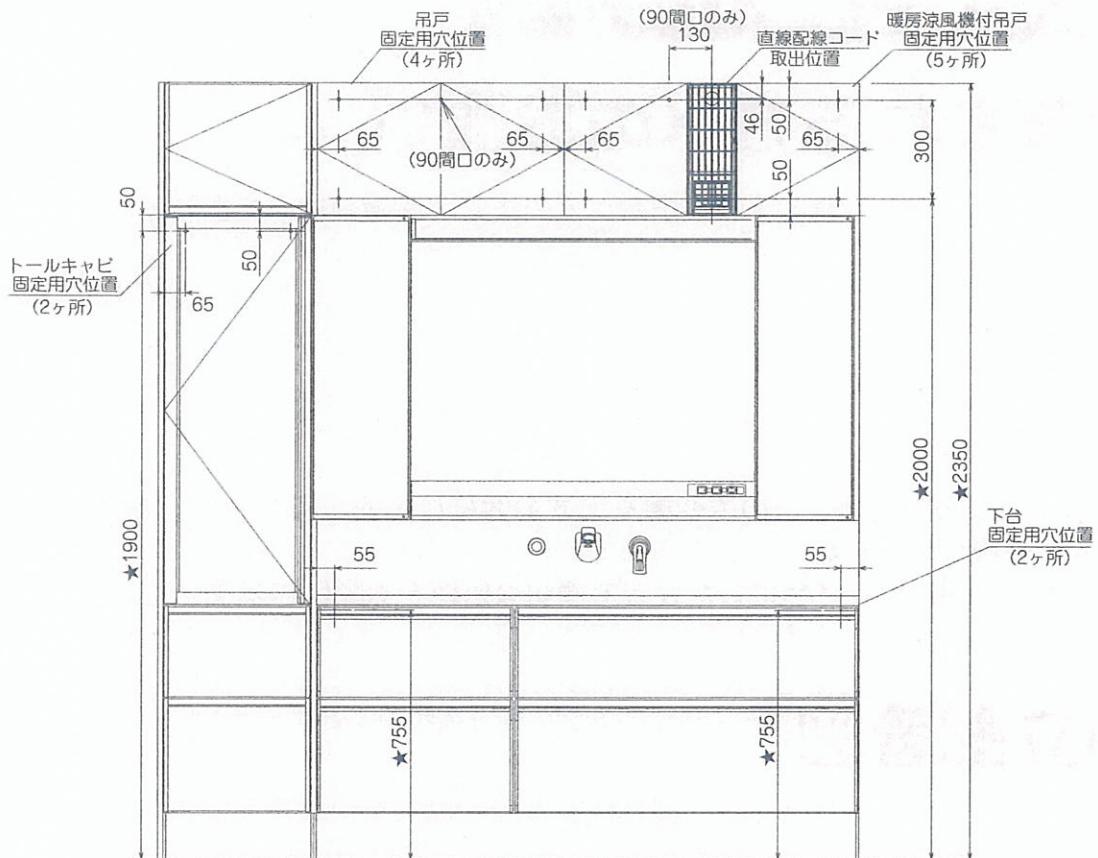
フラットカウンター



ハイバックカウンター



●キャビネット壁面固定位置



カウンター高さ75cmの場合、★印寸法は-50mmとなる。

3. 設置上のご注意

設置前のご確認

- 取付用桟木が、壁面の所定の位置に設置されているか確認してください。(キャビネット壁面固定位置図参照)
- 屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(組立配管図参照)

必ずお守りください。(安全上のご注意)

- 設置作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



このような図記号はしてはいけない
「禁止」の内容です。



このような図記号は必ず実行していただき
く「強制」の内容です。

- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客様にお渡しください。

⚠ 注意

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行ってください。

!

- 固定方法を誤ると使用中にキャビネットが転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。

- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行ってください。

!

- 接続が不備だと使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。

- 排水パイプと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行ってください。

!

- 接続部にスキマがあると、不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。

- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認してください。

!

- 扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

- 排水パイプはI字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。

!

- 使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて、床を汚すおそれがあります。

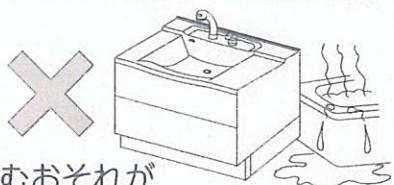
- 組込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

!

- 設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

快適にご使用いただくためにお守りください。

- 浴室内等の湿気の多い場所への設置は避けください。

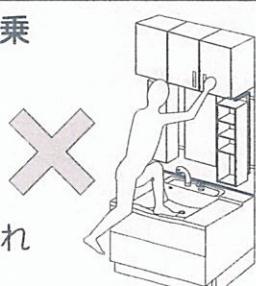


- 製品が早く傷むおそれがあります。

- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置はさけてください。

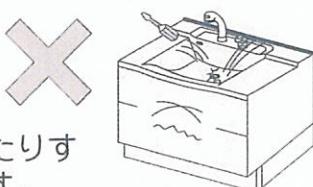


- 設置する時にボウルに乗らないでください。



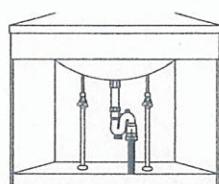
- ボウルに傷がつくおそれがあります。

- 工具類等をボウル・キャビネットに落としたり当てるしないでください。



- 傷がついたり欠けたりするおそれがあります。

- 水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため必ず止水栓をご使用ください。



- 梱包材の中には付属部品がはいっていますので、いれたまま捨ててしまわないようにご注意ください。



4. 設置手順

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

フラットカウンターの場合

1. 設置前確認（付属部品・給排水）
2. サイドパネルの設置
 11. ウォールキャビネット用エンドカバーの取付
 12. ウォールキャビネット用見切りの取付
3. ウォールキャビネットの設置
 12. ミラー用見切りの取付
4. ミラーの設置
5. ミラーパネルの取付
6. そこまでホーローラックの取付
 11. ベースキャビネット用エンドカバーの取付
 12. ベースキャビネット用見切りの取付
7. ベースキャビネットの設置
8. ドレッサーユニットの設置
9. カウンターの固定
 11. トールキャビネット用エンドパネルの設置
10. トールキャビネットの設置
13. 給排水の接続
14. コーキング処理
15. 扇の調整・保護など

ハイバックカウンターの場合

1. 設置前確認（付属部品・給排水）
2. サイドパネルの設置
6. そこまでホーローラックの取付
 11. ベースキャビネット用エンドカバーの取付
 12. ベースキャビネット用見切りの取付
7. ベースキャビネットの設置
9. カウンターの固定
 12. ミラー用見切りの取付け
4. ミラーの設置
 11. ウォールキャビネット用エンドカバーの取付
 12. ウォールキャビネット用見切りの取付
3. ウォールキャビネットの設置
 11. トールキャビネット用エンドパネルの設置
10. トールキャビネットの設置
13. 給排水の接続
14. コーキング処理
15. 扇の調整・保護など

1. 設置前確認（付属部品・給排水）

①付属部品が揃っているか確認してください。

※下記以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

カウンター	同梱部品	ポップアップツマミ (フラットカウンターの場合)	1個
		バック排水管	1個
		ケレップ	1個
		Sトラップ	1個
		排水管アダプター	1個
ベースキャビネット	小物セット	取扱設置説明書（本紙）	1部
		ナベタッピンネジ3.5×50	2本
		トラスタッピンネジ4×14	4本
		扉保護クッション	6個
		前板補強金具	4個
		カバーL	4個
		カバーR	4個
		ナベタッピンネジ4×12	4本
	同梱部品	スペーサー(間口165~120cmのみ)	2個
ドレッサーユニット	小物セット	トラスタッピンネジ4×14	8本
		穴塞ぎシール	4枚
		連結ボルト	2本
		連結ナット	2本
		前板補強金具	1個
		カバーL	1個
		カバーR	1個
		ナベタッピンネジ4×12	1本
	同梱部品（化粧品ボックス内）	穴塞ぎシール	2枚
エンドカバー	小物セット	ネジ頭隠しシール	各色4枚ずつ
		皿タッピンネジ3×16	4本
		樹脂ナット（ウォールキャビネット用のぞく）	4個
		ソフトテープ（ウォールキャビネット用のぞく）	1本
		両面テープ（ウォールキャビネット用のぞく）	3本
エンドパネル (トールキャビネット上台用)	小物セット	トラスタッピンネジ4×25	4本
		トラスタッピンネジ4×12	4本
	同梱部品	固定棧	2本
エンドパネル (トールキャビネット下台用)	小物セット	トラスタッピンネジ4×25	8本
		皿タッピンネジ3.5×25	3本
	同梱部品	固定棧	2本
		E P中棧	1本
		エッジカバー(SEP-TDASAをのぞく)	1本
間口30・45cm ガラス扉タイプ トールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×14	4本
		トラスタッピンネジ3.5×27	4本
		トラスタッピンネジ4.5×60	2本
		ナベタッピンネジ4×12	2本
		カバーL	2本
		カバーR	2本
		前板補強金具	2個
間口30・45cm 姿見ミラータイプ トールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×14	4本
		トラスタッピンネジ3.5×27	4本
		トラスタッピンネジ4.5×60	2本

間口 15cm トールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×27	2本
		丸木ネジ3.8×38	2本
		皿タッピンネジ3.5×35	2本
		皿タッピンネジ3.5×40	4本
		L型棚受L	3個
		L型棚受R	3個
		丸型棚受	6個
		ネジキャップ座金	6個
		ネジキャップ	6個
		ネジ穴キャップ	4個
		バックアップテープ	1本
		前固定アングル	1本
		設置チラシ	1部
トールキャビネット用台輪 ウォールキャビネット	同梱部品	トラスタッピンネジ3.5×27	3本
		トラスタッピンネジ4.5×60	5本
		設置チラシ	1部
		トラスタッピンネジ3.5×27	3本
	小物セット	トラスタッピンネジ4.5×60	5本
		リモコン	1個
		リモコンスペーサー	1本
	暖房涼風機小物セット	取扱説明書	1部
		設置説明書	1部
		皿タッピンネジ4×35	4本
		皿タッピンネジ4×12	4本

②給水給湯管、排水管の位置を確認してください。

2. サイドパネルの設置

サイドパネルに付属の設置説明書にしたがってサイドパネルを取付けてください。

3. ウォールキャビネットの設置 ※ウォールキャビネットを取付けない場合は不要

- (1) キャビネットの下穴加工→(2) エンドカバーの取付→(3) 見切りの取付→
(4) キャビネットの設置

(1) キャビネットの下穴加工

- ①すべての扉をはずしてください。
- ②キャビネット背板の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。(図3-1-1)
- ③連結するキャビネット側板のどちらか一方の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。
(図3-1-2)

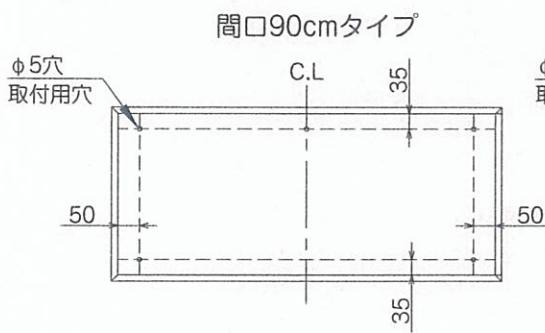


図3-1-1

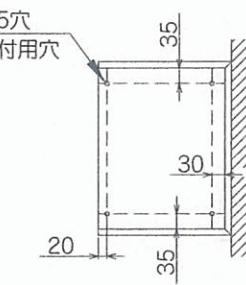
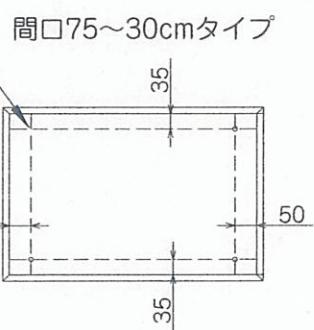


図3-1-2

(2) エンドカバーの取付

エンドカバーを取付ける場合は、「11. エンドカバー・エンドパネルの取付」を参照してください。

(3) 見切りの取付

見切りを取付ける場合は、「12. 見切りの取付」を参照してください。

(4) キャビネットの設置 (図3-2)

- ①キャビネットの設置位置を壁面に墨書きしてください。
- ②設置位置の墨書き線にキャビネットをあてがい所定のネジで取付けてください。

ご注意：ネジバカにならないようしっかりと固定されていることを確認してください。

- ②連結穴より隣接するキャビネットの側板に所定のネジで連結してください。

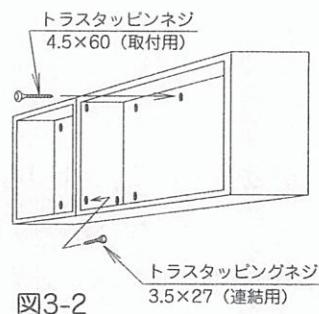


図3-2

4. ミラーの設置

ミラーに付属の設置説明書にしたがってミラーを取付けてください。

5. ミラーパネルの取付 ※フラットカウンターの場合のみ

ミラーパネルに付属の設置説明書にしたがってミラーパネルを取付けてください。

6. そこまでホーローラックの取付 ※そこまでホーローラック取付の場合のみ

そこまでホーローラックに付属の設置説明書にしたがってそこまでホーローラックを取付けてください。

7. ベースキャビネットの設置

(1) エンドカバーの取付→(2) 見切りの取付→(3) キャビネットの設置

(1) エンドカバーの取付

エンドカバーを取付ける場合は、「11. エンドカバー・エンドパネルの取付」を参照してください。

(2) 見切りの取付

見切りを取付ける場合は、「12. 見切りの取付」を参照してください。

(3) キャビネットの設置

- ①キャビネット背面側の所定の位置にスペーサーを貼付けてください。(図7-1)

- ②キャビネットを所定の位置に設置してください。

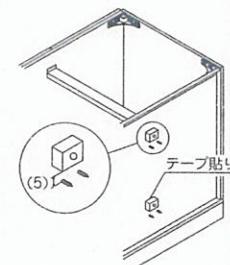


図7-1

ご注意：床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないように水平に設置してください。

- ③すべての引出を取りはずしてください。(P5参照)

- ④所定の位置にスペーサー（別途手配）を取付けてください。(図7-2)

※フラットカウンターの場合のみ

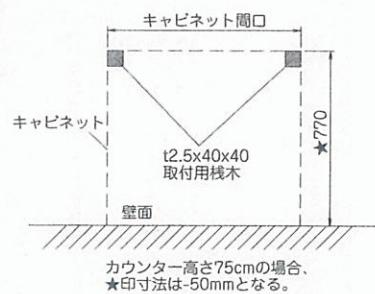


図7-2

⑤キャビネット奥側両端の隅補強を止めているネジ2本をはずし、
その穴から所定のネジで壁面へ固定してください。(図7-3)

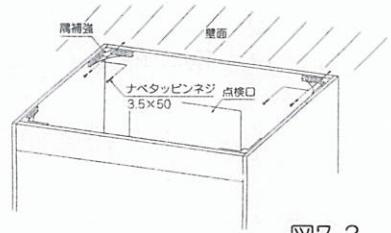


図7-3

8. ドレッサーユニットの設置 ※ドレッサー・タイプの場合のみ

- (1) ドレッサー脚の組立→(2) ドレッサー脚の取付→(3) ドレッサーユニットの設置→
(4) 化粧品ボックスの設置

(1) ドレッサー脚の組立

- ①ドレッサーユニットの引出および化粧品ボックスを取りはずしてください。(間口120cmは化粧品ボックスはありません)
- ②ドレッサー脚に所定のネジでL金具を取付けてください。(図8-1)

(2) ドレッサー脚の取付

- ①ドレッサーユニットの後面、側面に合わせて所定のネジでドレッサー脚を取付けてください。(図8-2)

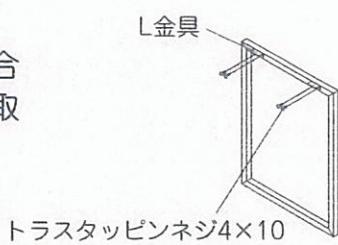


図8-1

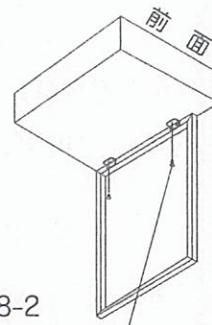


図8-2

トラスタッピングネジ4×14

(3) ドレッサーユニットの設置

- ①ドレッサーユニットとベースキャビネットを連結ボルトとナットで連結してください。(図8-4-1)

ご注意 : ●ドレッサーユニット側にボルト、ベースキャビネット側にナットをはめて連結してください。
●間口120cmの場合は、ドレッサーユニットのベースキャビネット連結側にΦ6の穴を加工してください。(図8-4-2)

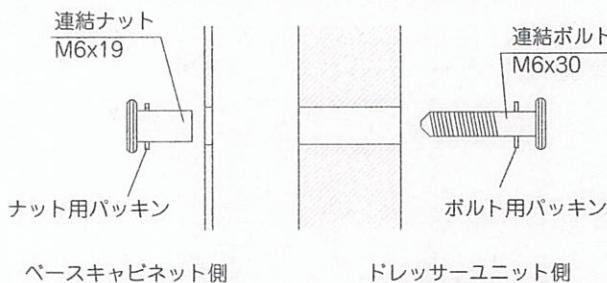


図8-4-1

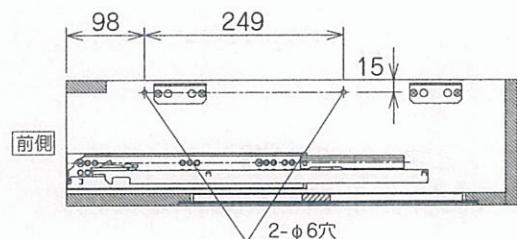


図8-4-2

- ②ドレッサー脚を所定のネジで床固定し、穴を穴塞ぎシールで隠してください。(図8-4-3)

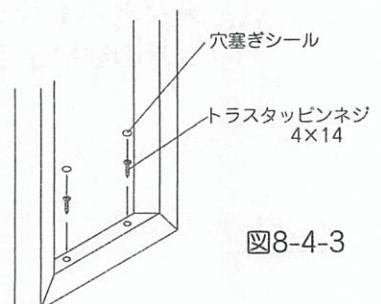


図8-4-3

(4) 化粧品ボックスの設置（間口135cm以上の場合のみ）

①化粧品ボックス裏側の両面テープ離型紙をはがし、ドレッサーキャビネットのエンド側に合わせて貼付けてください。（図8-5-1）

②化粧品ボックスは蓋が外側に開くようにしてください。逆になっている場合は蓋裏側のネジを緩めてピンを抜き、化粧品ボックスの逆側の穴にピンを差込んでネジを締めてください。（図8-5-2）

ご注意：開梱時は、蓋に付いたピンが緩んでいる可能性がありますので、設置時に必ず確認してください。

③蓋の取付けに必要な穴に化粧品ボックスに同梱している銀色シールを貼付けてください。（図8-5-3）

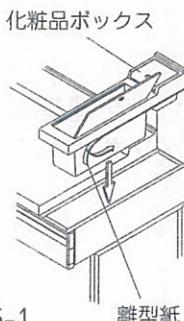


図8-5-1

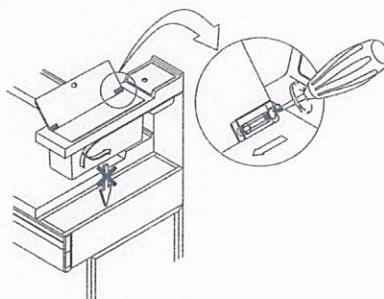


図8-5-2

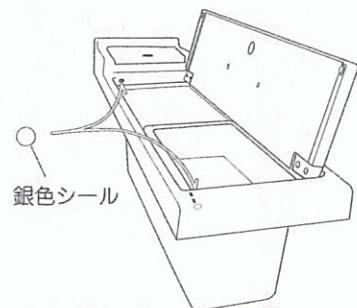


図8-5-3

9. カウンターの固定

(1) 水栓の取付→(2) 排水部品の取付→(3) カウンターの固定

(1) 水栓の取付

～フラットカウンターの場合～

水栓付属の説明書にしたがって水栓を取り付けてください。

～ハイバックカウンターの場合～

水栓付属の説明書にしたがって水栓を取り付けてください。（図9-1-1）

※シングルレバー式シャワー水栓の場合、混合栓の銅管部分を手前に少し曲げると取付穴への挿入がやりやすくなります。（図9-1-1）

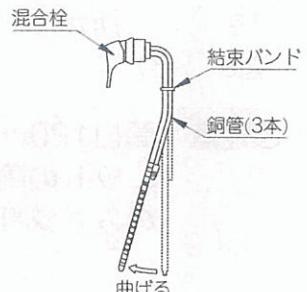
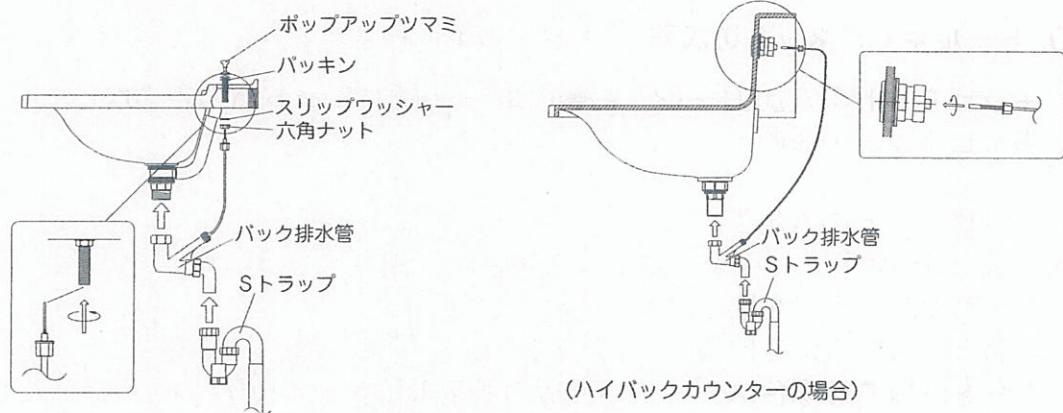


図9-1-1

(2) 排水部品の取付

①ポップアップツマミを取付けてください。（図9-2-1）

※フラットカウンターの場合のみ



(フラットカウンターの場合)

図9-2-1

- ②バック排水管およびSトラップを取付けてください。
- ③ポップアップツマミ又はポップアップスイッチとバック排水管のワイヤーを連結してください。
- ④ケレップをボウルの排水口に入れてください。(図9-2-2)



図9-2-2

(3) カウンターの固定

- ①キャビネット4隅の隅補強を介して所定のネジでカウンターを固定してください。(図9-3-1)

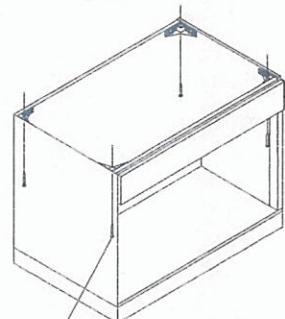


図9-3-1
トラスタッピングネジ
4×14

～ドレッサー・タイプの場合～

- ①ドレッサー・ユニットの底板を取りはずしてください。(図9-3-2)
- ②化粧品ボックスとカウンターの隙間をなくすようにしてカウンターをキャビネットの上に載せてください。
- ③ベースキャビネット4隅の隅補強、ドレッサー・ユニットのL金具を介して所定のネジでカウンターを固定してください。(図9-3-3)

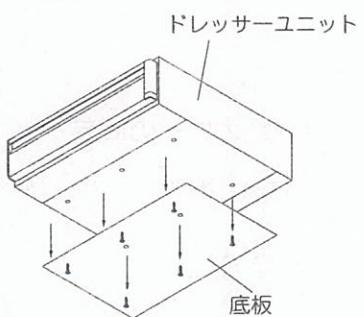


図9-3-2

ご注意：間口120cmドレッサー・タイプの場合、ドレッサー・ユニットの両側にL金具が取付いていますが、エンド側のみネジ打ちしてください。

- ④ドレッサー・ユニットの底板を元の位置に取付けてください。

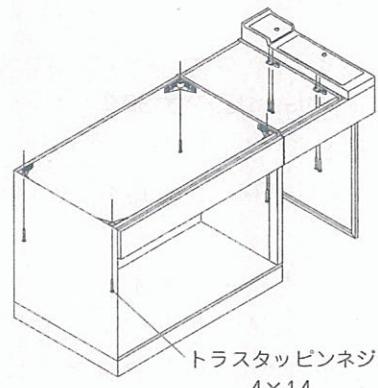


図9-3-3
トラスタッピングネジ
4×14

10. トールキャビネットの設置

※トールキャビネットを取付けない場合は不要

- (1) キャビネットの穴加工→(2) 台輪の取付→(3) エンドパネルの取付→
- (4) キャビネットの設置

(1) キャビネットの穴加工

～間口30・45cmトールキャビネットの場合～ (図10-1-1)

- ①すべての扉・引出を取りはずしてください。
- ②下台の背板の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。
- ③上台を設置する場合は、下台の天板の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。

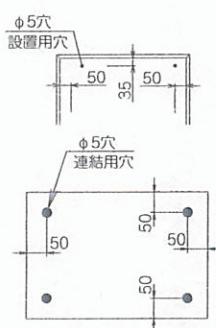


図10-1-1

～間口15cmトールキャビネットの場合～（図10-1-2）

- ①すべての扉・引出を取りはずしてください。
- ②下台の天板の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。
- ③（上台を取付けない場合は不要）中台の天板の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。

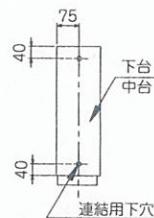


図10-1-2

ご注意：中台は洗面化粧台の左右どちら側に据え付けているかで天地が入れ替わりますので、注意してください。

（2）台輪の取付（図10-2）

台輪隅金具より所定のネジで台輪を背面合わせで取付けてください。

※間口15cmのトールキャビネットの場合は、両側を3mmずつあけて取付けてください。

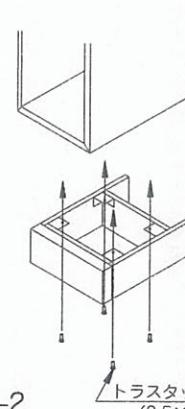


図10-2

（3）エンドパネルの取付

エンドパネルを取付ける場合は、「11.エンドカバー・エンドパネルの取付」を参照してください。

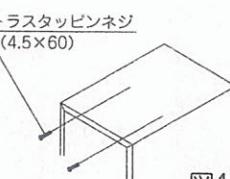


図10-4-1

（4）キャビネットの設置

- ①下台を所定の位置に設置してください。

ご注意：床面のレベルが出ていない場合には、床とキャビネットの間に適当なスペーサーを入れて調整してください。

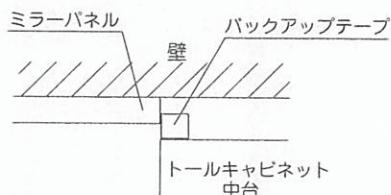


図10-4-2

- ②下台後板の壁面取付用下穴より所定のネジで壁面に固定してください。（図10-4-1）

- ③中台を設置してください。

※間口15cmトールキャビネットの場合のみ

- A. 付属のバックアップテープを中台の背面パネル寄りの位置に取付けてください。（図10-4-2）
- B. 下台に中台を載せ、両キャビネットの前面側面を合わせて下台の下穴より所定のネジで連結してください。（図10-4-3）
- C. 中台の後板上方の壁面取付用下穴より所定のネジで壁面に固定してください。（図10-4-3）
- D. 中台の後板の壁面取付用下穴にネジ穴キャップをはめ込んでください。（図10-4-3）
- E. 木口カバー裏面にシリコンを塗布し、両面テープで中台の木口に貼付けてください。はみ出したシリコンはきれいにふき取ってください。（図10-4-4）
- F. 棚板を設置してください。（P6参照）

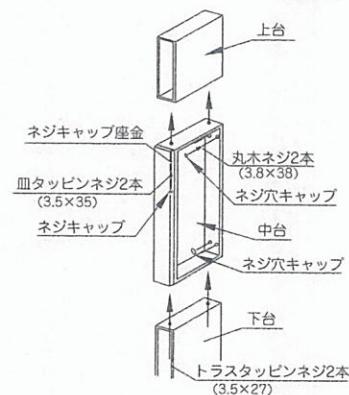


図10-4-3

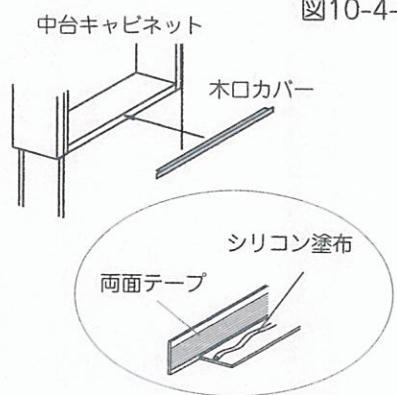


図10-4-4

④上台を設置してください。(上台を取付けない場合は不要)
 ~間口30・45cmトールキャビネットの場合~
 下台と上台の位置合せを行った後、下台の連結穴より所定のネジで連結してください。(図10-4-5)

~間口15cmトールキャビネットの場合~
 中台と上台の位置合せを行った後、中台の連結穴より、ネジキヤップ座金を介して、所定のネジで連結し、ネジ頭にネジキヤップをはめてください。(図10-4-3)

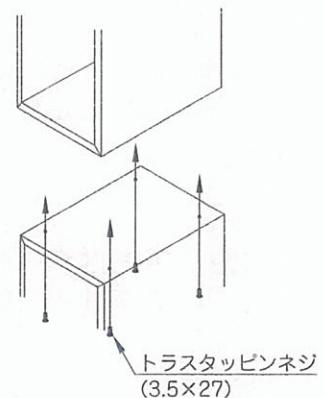


図10-4-5

⑤洗面下台とトールキャビネットの間にエンドパネルを取り付ける場合は、トールキャビネット用台輪に付属の前固定アングルを取付けてください。(図10-4-6)
 ※カウンター高さ75cmの場合は前固定アングルを50mmカットしてから取付けてください。

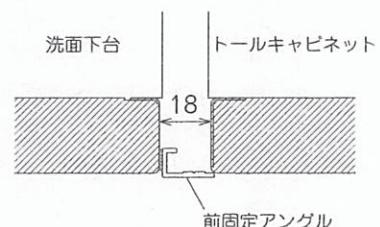


図10-4-6

⑥扉・引出を元通りにセットしてください。

11. エンドカバー・エンドパネルの取付

～下台用エンドカバーの場合～

(1) エンドカバー取付前の準備

①所定の角穴4ヶ所に、樹脂ナットを取付けてください。(図11-1、11-2)

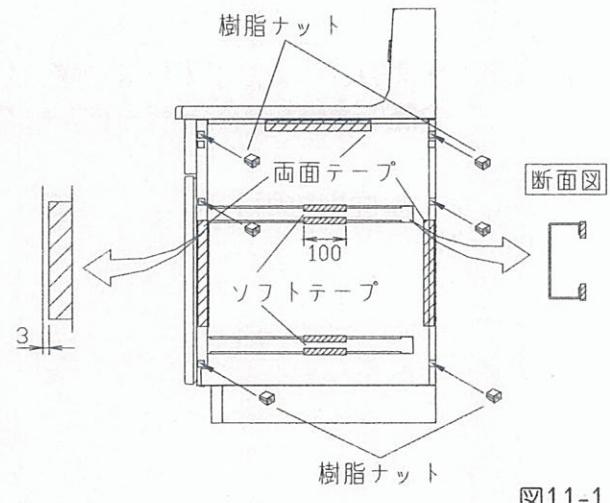
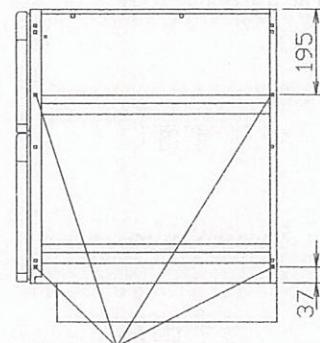
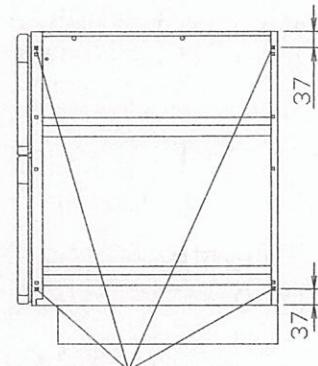


図11-1



樹脂ナット取付位置
ドレッサーライプの場合



樹脂ナット取付位置
ドレッサーライプ以外の場合

樹脂ナット取付位置図

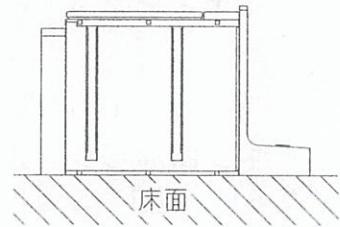
図11-2

②キャビネットの補強棟にソフトテープを貼付けてください。

(2) 両面テープの貼付

- ①貼付面（側板折曲げ部分）のほこりなどをふき取ってください。
- ②所定の位置（端から3mm）に付属の両面テープを貼付けてください。
- ③テープ離型紙の上から十分に押さえつけて確実に貼付けてください。

参考) エンドカバーを貼付ける際はキャビネットを床に寝かせた状態で作業を行うと、位置合わせがしやすくなります。



(3) エンドカバー取付

- ①貼付面（エンドカバー裏側）のほこりなどをふき取ってください。
- ②側板に貼付けた両面テープの離型紙をはがしてください。
- ③キャビネット側板の上部および後方部に合わせてエンドカバーを貼付けてください。
- ④両面テープ位置をエンドカバーの上からよく押さえつけて確実に貼付けてください。
- ⑤所定のネジで樹脂ナットにネジ打ちし、ネジ頭隠しシールを貼付けてください。（図11-3）

ご注意：ネジ締め込み時に電気ドライバーを使用しないでください。（勢いよくネジ打ちするとホーローが欠ける可能性があります）

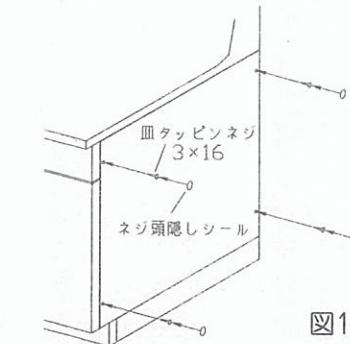


図11-3

～ウォールキャビネット用エンドカバーの場合～

- ①ウォールキャビネット側面の所定の位置にΦ1.5の穴（深さ5mm程度）を加工してください。（図11-4）
- ②所定のネジでエンドカバーを固定し、ネジ頭隠しシールを貼付けてください。

～エンドカバーをドレッサーユニット横に取付ける場合～

- ドレッサーユニットの横に間口15cmトールユニットが設置される場合、斜線部に取付ける化粧部材（エンドカバー・台輪化粧板）は下記にしたがって設置してください。（図11-5）
- また、化粧部材を取付ける前に一度ドレッサー脚をはずし、化粧部材取付後に再度ドレッサー脚を取り付けてください。

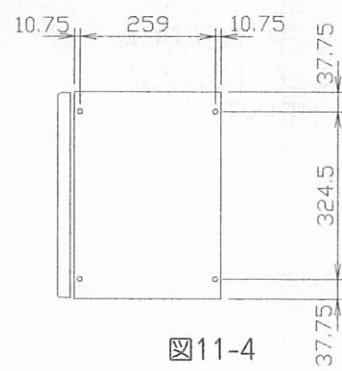


図11-4

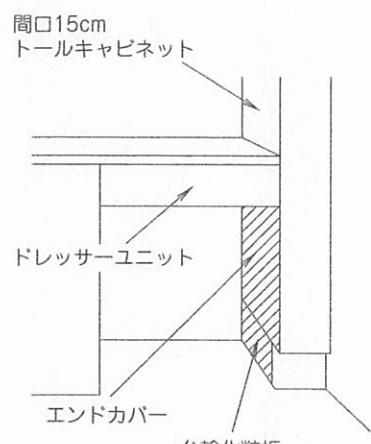


図11-5

◆取付方法

(1) 台輪化粧板の取付

※台輪化粧板はトールキャビネット下台に同梱しています。

- ①（カウンター高さ75cmの場合のみ）台輪化粧板を上側から90mmのところでカットしてください。

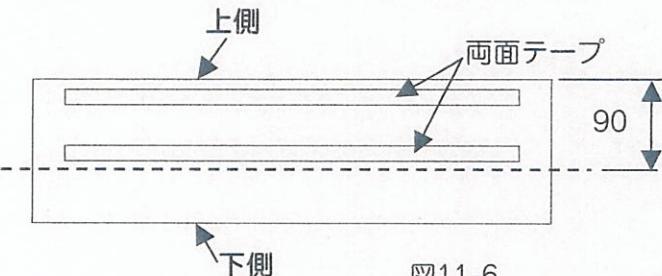


図11-6

ご注意：台輪化粧板には上下がありますので、カットする方向に注意してください。（図11-6のように両面テープが無い側をカットしてください）

②トールキャビネット台輪の下面、後面に合わせて台輪化粧板を貼付けてください。
カウンター高さ75cmの場合は、①のカット面が下になるように貼付けてください。

(2) エンドカバーの取付

①トールキャビネット側面の所定の位置にΦ1.5の穴（深さ5mm程度）を加工してください（図11-7）。

②所定のネジでエンドカバーを固定し、ネジ頭隠しシールを貼付けてください（図11-8）。

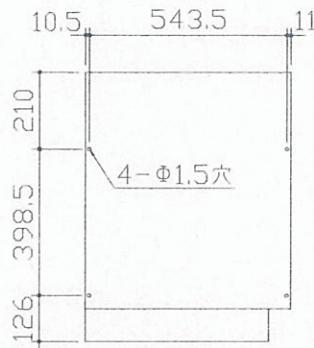


図11-7

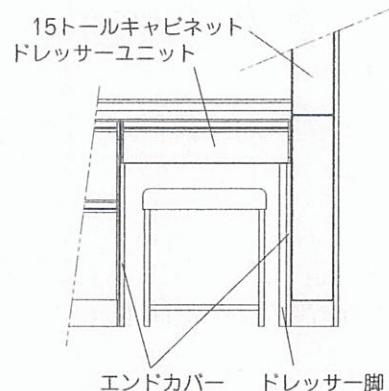


図11-8

～トールキャビネット用エンドパネルの場合～

①トールキャビネット側面の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。（図11-9）

なお、トールキャビネット下台用エンドパネルを取付ける場合、キャビネット側面の所定の位置にEP中桿を取付けてください。（図11-10）

エンドパネル品名	設置対象	EP中桿の長さ
SEP-TUAA	トールキャビネット上台	なし
SEP-TDA80A	〃 下台（カウンター高さ80cm用）	1600
SEP-TDA75A	〃 下台（カウンター高さ75cm用）	1600
SEP-TDASA	〃 下台（キャビネット隣接側用）	1000

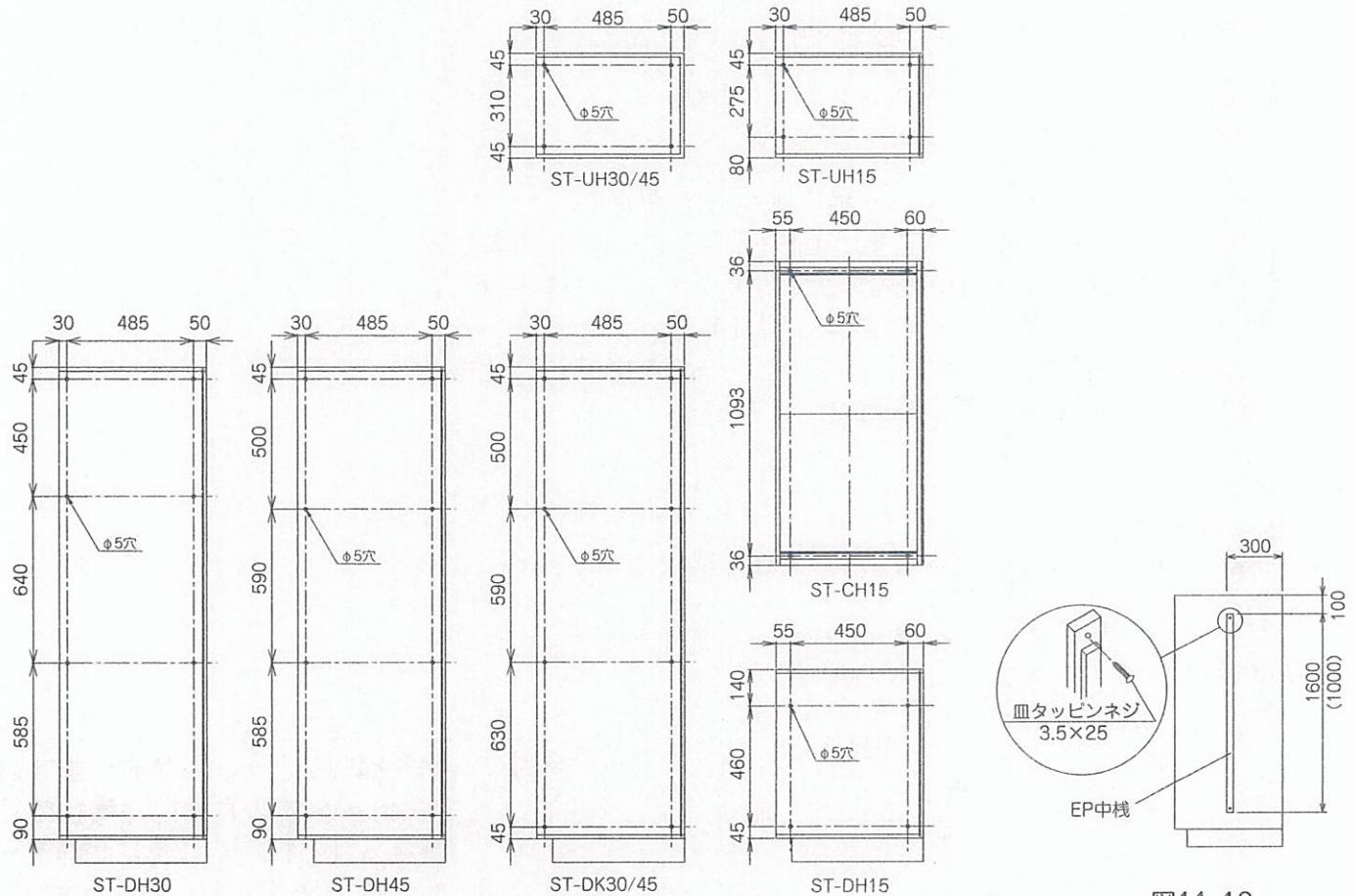


図11-9

図11-10

②エッジカバーの取付

床面に接して設置するエンドパネルの場合、エッジカバーをパネルの前側下部に差し込んでください。(図11-11)

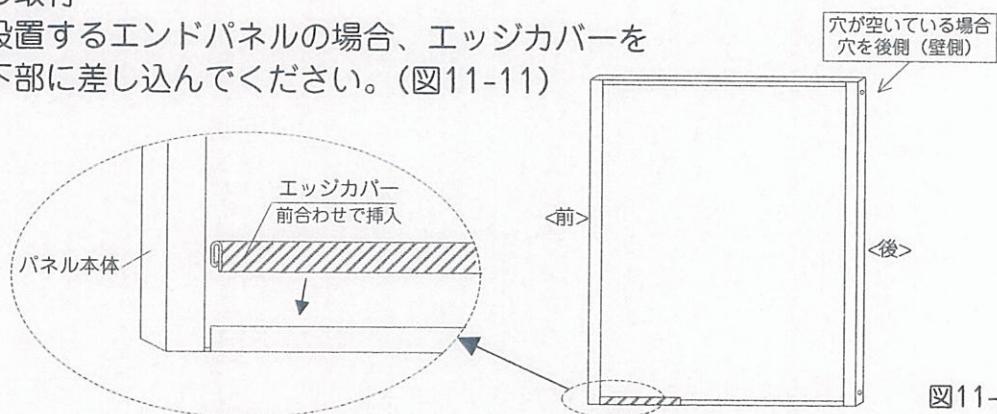


図11-11

ご注意：エッジカバーを取付けるパネルは上下対称です。

パネルをキャビネットの左右どちらに取付けるかを確認してから取付けてください。

③EP固定棟の取付

EP固定棟をパネル本体の前後に下合わせで挿入してください。(図11-12)

ご注意：EP固定棟は幅75mmと幅60mmの2種類あります。幅が異なるEP固定棟が同梱されている場合は、必ず幅の広い方を前側に挿入してください。

④エンドパネルをキャビネット後面合わせで、キャビネットの内側から所定のネジで固定してください。
(図11-13)

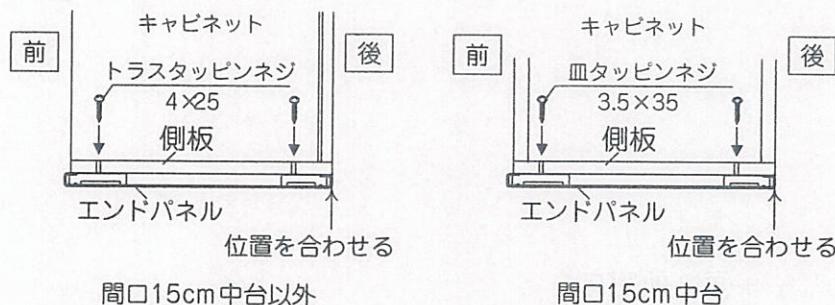


図11-13

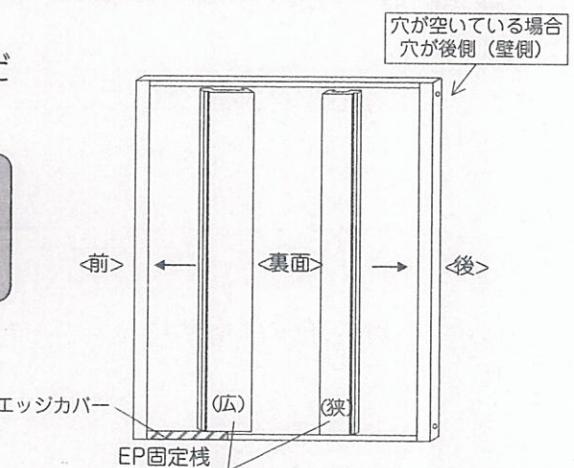


図11-12

12. 見切りの取付

(1) ウォールキャビネット用見切り部材の取付方法

ご注意：見切り部材（L=900mm）は左勝手と右勝手の2種類ありますのでご注意ください。吊戸の右側面に取付ける場合は1を、左側面に取付ける場合は2をご覧ください。

～1. ウォールキャビネット右側面に取付ける場合～

①2種類の見切り部材を所定の長さにカットしてください。(図12-1-1)

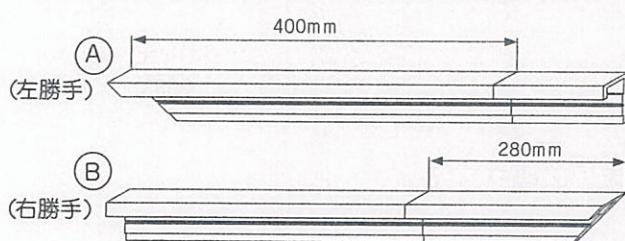


図12-1-1

②見切り部材の所定の位置にΦ4の穴を加工してください。(図12-1-2)

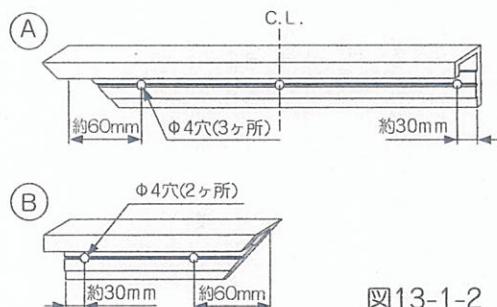


図12-1-2

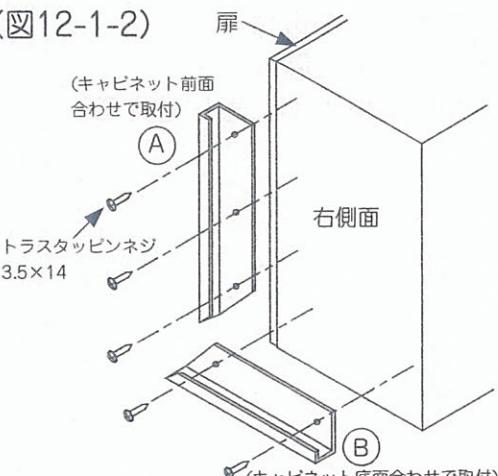


図12-1-3

～2. ウォールキャビネット左側面に取付ける場合～

①2種類の見切り部材を所定の長さにカットしてください。(図12-1-4)

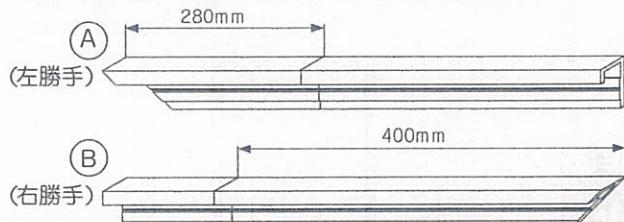


図12-1-4

②見切り部材の所定の位置にΦ4の穴を加工してください。

(図12-1-5)

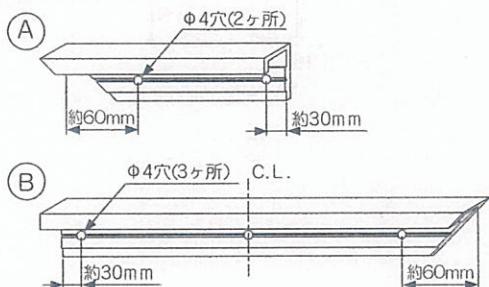


図12-1-5

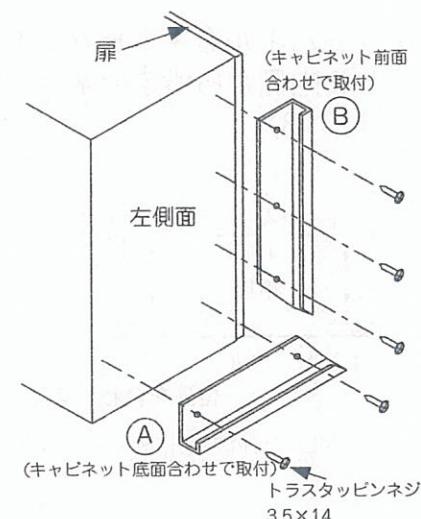


図12-1-6

(2) 洗面下台用見切り部材の取付方法

1. ベースキャビネット用見切り部材の取付方法

①見切り部材(白色と黒色の2本)をそれぞれ所定の長さにカットしてください。(図12-2-1、12-2-2)

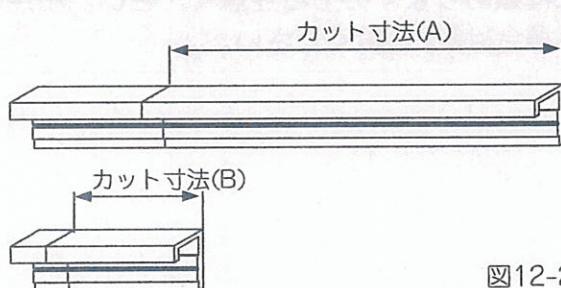


図12-2-1

(A):天板前下がり下端～ベースキャビネット蹴込み部上端までの高さ寸法
(B):キャビネット蹴込み部の高さ寸法

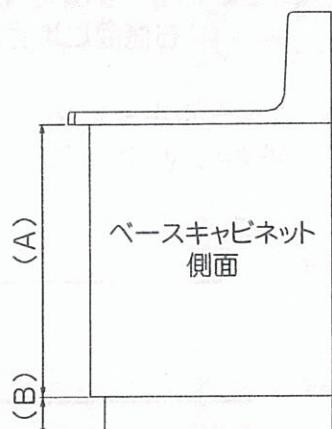
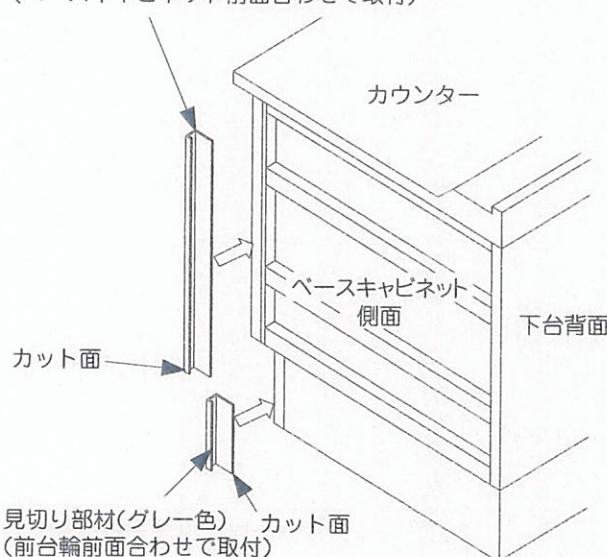


図12-2-2

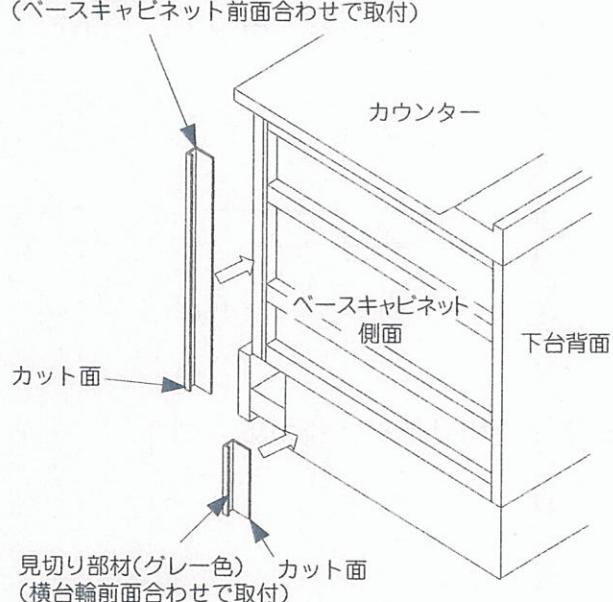
②下図にしたがって両面テープでそれぞれの見切り部材を取付けてください。

見切り部材(白色)
(ベースキャビネット前面合わせで取付)



<そこまでホーローラックがない場合>

見切り部材(白色)
(ベースキャビネット前面合わせで取付)



<そこまでホーローラックがある場合>

図12-2-3

③スポンジテープを図に示す位置に貼付けてください (図12-2-4)。

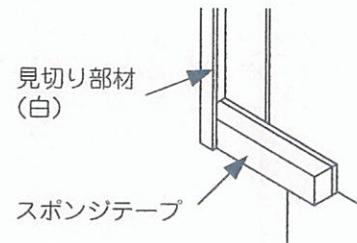
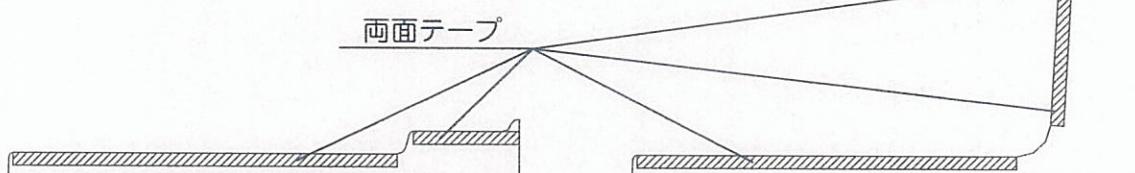


図12-2-4

2. 天板用見切り部材の取付方法

①天板見切り部材を、見切りに付属の両面テープで、カウンターの側面に貼付けてください。(図12-2-5)



フラットカウンターの場合

ハイバックカウンターの場合

図12-2-5

②カウンターとの段差が2mmになるように天板見切り部材を貼付けてください。(図12-2-6)

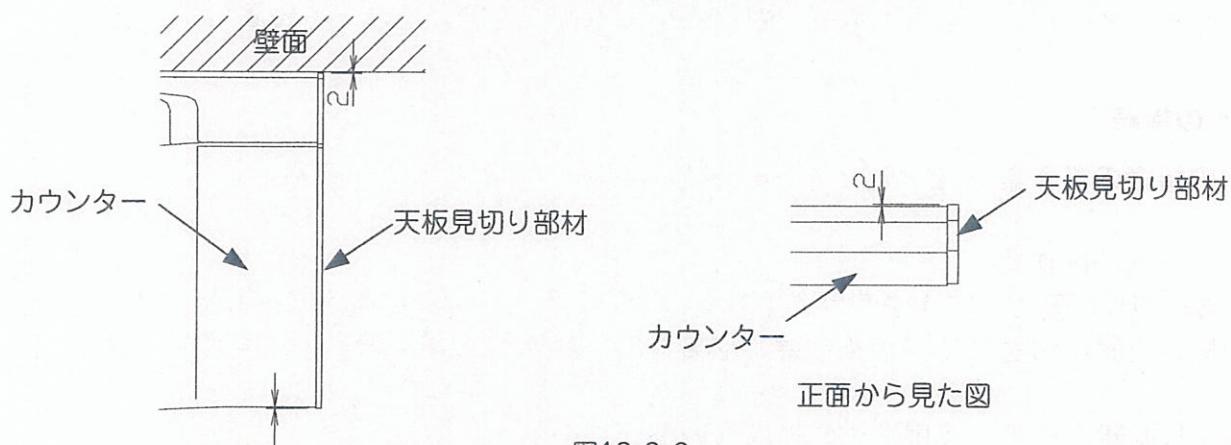


図12-2-6

上から見た図

(3) ミラー用見切り部材の取付方法

①2本あるミラー見切り部材のうち、1本を所定の長さにカットしてください。(図12-3-1)

- ・下台がフラットカウンターの場合 : 395mm
- ・下台がハイバックカウンターの場合 : 210mm

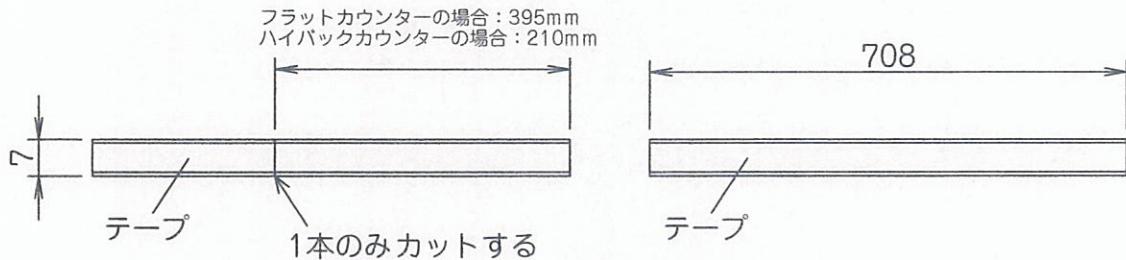


図12-3-1

②ミラー見切り部材の離型紙を剥がしてください。(図12-3-2)

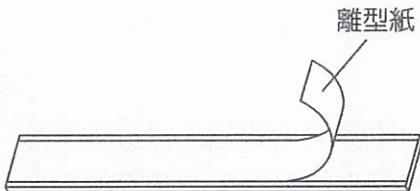


図12-3-2

③天板見切り部材の上に、ミラー見切り部材を貼付けてください。(図12-3-3)

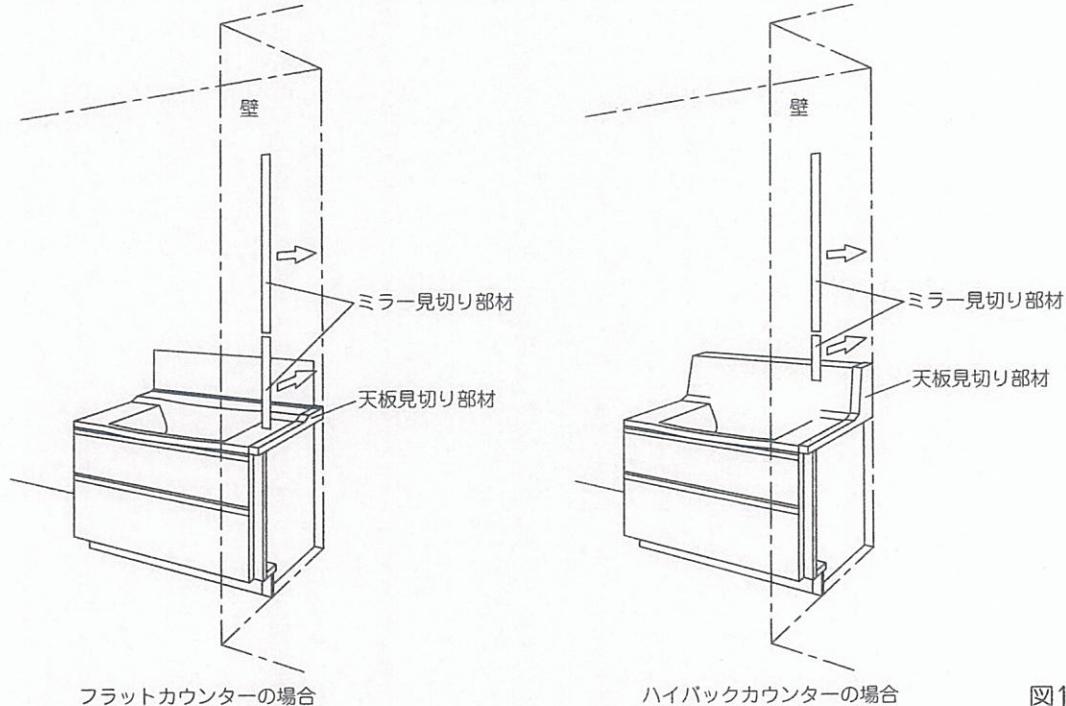


図12-3-3

④ミラーキャビネット、ウォールキャビネットを設置説明書にしたがって設置してください。

13. 給排水の接続

(1) 給排水の接続の前作業→(2) 給水管・給湯管の接続→(3) 排水管の接続

(1) 給排水の接続の前作業

- ①底板、後板点検口蓋の縁に手をかけて上方又は手前に引出しながら点検口を取りはずしてください。
- ②現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に必要な穴（給水管・給湯管・排水管用）を加工してください。

床より配管されている場合…底板点検口蓋に穴加工

壁より配管されている場合…後板点検口蓋に穴加工

(2) 給水管・給湯管の接続

- ①点検口蓋にあけた穴を給水管・給湯管に通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。
- ②水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

ご注意：

- パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。
- 金属製ナット類は、充分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因になります。

(3) 排水管の接続

～床排水の場合～

- ①底板点検口蓋穴に、トラップのフレキシブルホース部を通してください。(図13-3-1)
- ②フレキシブルホースの先端に排水管アダプターを通し排水管に接続してください。
- ③底板点検口蓋を底板に取付けてください。
- ④後板点検口蓋を後板に取付けてください。

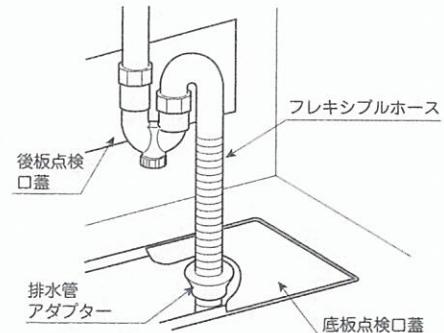
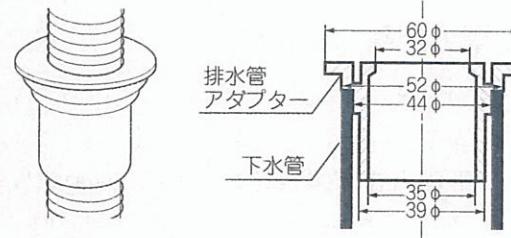


図13-3-1

- 凍結防止・結露防止の必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください

ご注意：

- 排水管アダプターは、内径40、44、51 の3種類の排水管に接続できます。すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
- U管・P管の袋ナットは、パイプレンチ等を使用して締め過ぎないでください。袋ナットが破損するおそれがあります。
- U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、ゆがんだ状態で締め付けないでください。水漏れの原因になります。



～壁排水の場合～

- ①後板点検口蓋にあけた穴にP管を通して下さい。(図13-3-2)
- ②建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とSトラップのU管を確実に接続してください。(図13-3-3)
- ③P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- ④後板点検口を後板に取付けてください。
- ⑤後板点検口蓋を後板に取付けてください。



図13-3-2

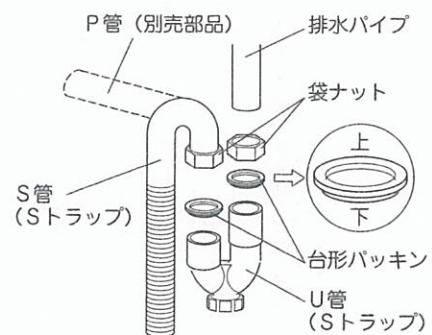


図13-3-3

14. コーキング処理

外観向上および防水処理のため、つぎの箇所をシリコーン剤（白）でコーキング処理を行ってください。（図14）

- A. カウンターとサイドパネル間の目地
(化粧品ボックスとサイドパネル間の目地)
- B. カウンターとトールキャビネット間の目地
(化粧品ボックスとトールキャビネット間の目地)
- C. カウンターとミラーパネル間の目地
(化粧品ボックスとミラーパネル間の目地)
- D. カウンターと見切り間の目地
- E. カウンターと化粧品ボックス間の目地
- F. 洗面下台と壁面間の目地
※フラットカウンターの場合のみ
- G. トールキャビネットと壁面間の目地
※フラットカウンターの場合のみ

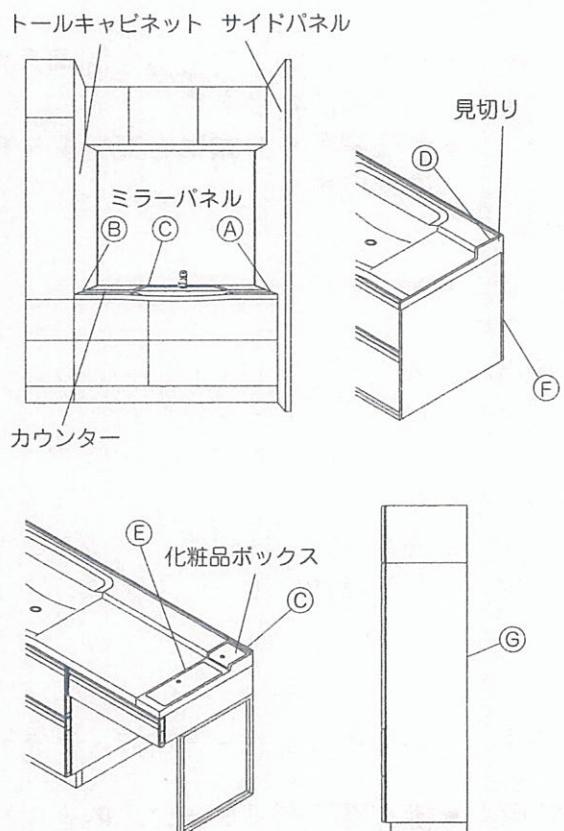


図14

15. 扉の調整・保護など

①扉の調整

- 扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。
不備がある場合は、「取扱説明書5.調整のしかた (P7)」にしたがって調整してください。
- スライド扉については、調整終了後、引出裏面より前板補強金具を用いて付属のネジで固定してください。

②扉保護クッションの取付

扉が隣接する壁等に当たる場合に、付属の扉保護クッションを壁等の扉の当たる部分に貼付けてください。（図15）

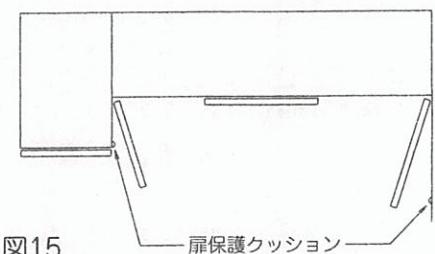


図15

5. 点検・仕上げ

(1) 点検→(2) 仕上げ

(1) 点検

安全確保のため、必ず実行をお願いします。

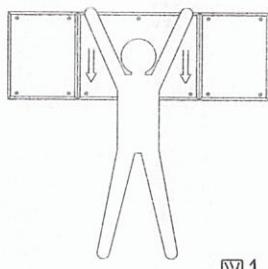


図1-1

- ①取付部材がしっかりと固定されているかを確認してください。
- ②水栓の取扱説明書にしたがって、湯水混合水栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分洗い流したあと、整流網を元通りに取付けておいてください。
- サーモスタッフ付シャワー水栓タイプの場合は、止水栓の上にあるストレーナーの清掃も行ってください。
- ③スライド扉と配管が干渉しないことを確認してください。
- ④壁面へのネジ固定が確実にされているか、下記の2点の方法で確認してください。

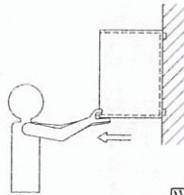


図1-2

1. ウォールキャビネット天板ぶら下がり確認

セット間口センター付近の吊戸天板（側板や中仕切のある近辺）にぶら下がり、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。（図1-1）

ご注意：吊戸の底板にはぶら下がらないください。底板が変形するおそれがあります。

2. ウォールキャビネット底板引っ張り確認

ウォールキャビネットの底板を引っ張り、ネジの抜けやガタツキが無いか確認してください。（図1-2）

(2) 仕上げ

①配管接続部に水漏れがないことを確認してください。

設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませた布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れをおとしてください。その後、水を含ませた布またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

洗面化粧台および組込み機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、製品内部に収納してお引き渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

【3. 梱包材その他部材の処理】

不要部材を処理する場合は必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

保証書

お名前	様	品 名	ホーローシステム洗面化粧台
お客様	〒 ご住所	お買い上げ日から	1年間
	TEL ()	保証期間	(水栓金具：2年間)
販売店			
	TEL ()		
お買上日	年 月 日		

見本

印

- 本保証書は、当社の洗面ユニットで使用する製品及びそれに付帯する部品を対象とします。
- 取扱説明書に保証書が添付されている関連商品については、各々の保証書記載内容によります。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はP9に記載のフリーダイヤルに出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はP9に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (3) 鉄分などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
 - (5) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
 - (8) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (12) 水栓金具において、砂やゴミ等の異物流入による不具合
 - (13) 温泉水、井戸水などにあって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことによる不具合
 - (14) 凍結に起因する不具合
 - (15) 本書の提示がない場合
 - (16) 本書にお客様名、販売店名、お買上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (17) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はP9に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鶴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531

10153877

1D-1

取設置説SXX(2)